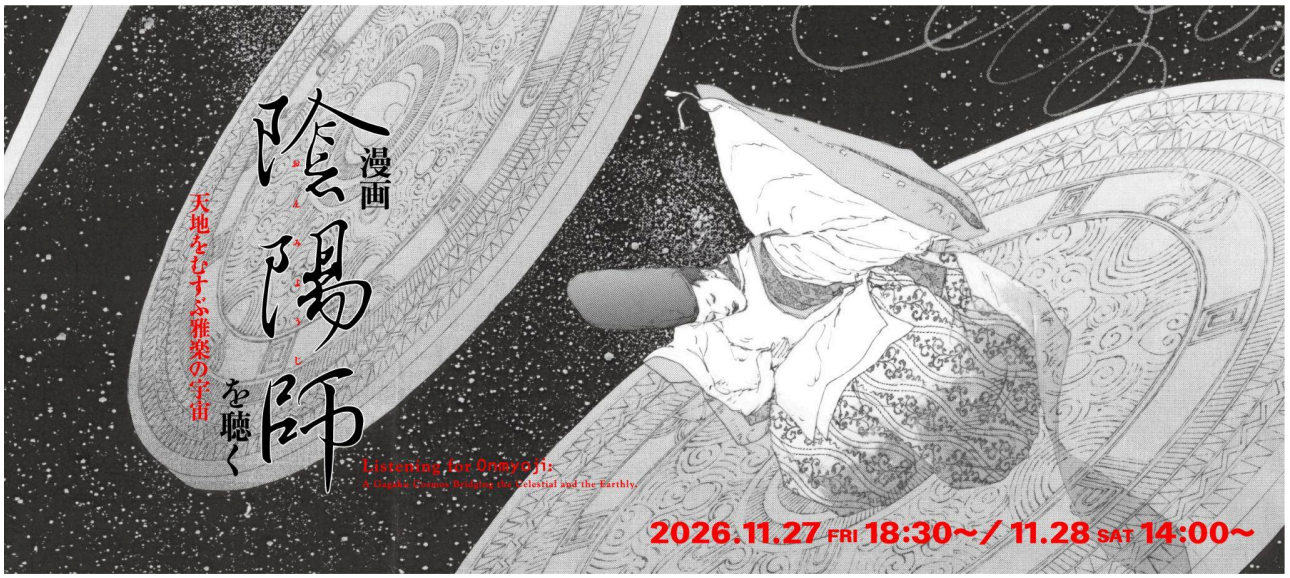
2026年11月27日

MoN Takanawa: The Museum of Narratives

文化の実験的ミュージアム MoN Takanawa にて、
漫画『陰陽師』を聴く ―天地をむすぶ雅楽の宇宙―
開幕直前！最終稽古レポート！

“100年先へ文化をつなぐ”をミッションに掲げる「MoN Takanawa: The Museum of Narratives（モン タカナワ: ザ ミュージアム オブ ナラティブズ）」（東京都港区、運営：一般財団法人JR東日本文化創造財団）による、**「漫画『陰陽師』を聴く ―天地をむすぶ雅楽の宇宙―」がいよいよ本日11月27日（金）、開幕します！ 公演は今日と明日28日（土）の二日間。**本公演では、岡野玲子の漫画『陰陽師』に登場する安倍晴明や源博雅が感じた平安時代の美意識や宇宙観を、**演出家・Bruce Ikeda**の演出による音楽・映像・空間構成によって再構築します。**MoN Takanawaが誇る最新鋭のシアター空間「Box1000」と、日本の伝統芸能である「雅楽」が美しく融合する奇跡の瞬間をご覧いただきます。和と洋、過去と現在が交差するコンサートをぜひご堪能ください。**

この度、**岡野玲子、雅楽演奏集団・伶楽舎、橋本一子**の緊迫する時間を皆さまにお届けするため、**開幕直前の稽古レポートを作成いたしました。**ぜひ本番の会場にて、今回限りの特別なコンサートを体験してください。皆さまのご来場をお待ちしております。



ついに開幕！　音楽と映像、空間が誘うスペシャルな体験

「漫画『陰陽師』を聴く ―天地をむすぶ雅楽の宇宙―」舞台稽古レポート

2026年11月27日（金）、28日（土）、MoN Takanawa: The Museum of Narrativesにて上演される「漫画『陰陽師』を聴く ―天地をむすぶ雅楽の宇宙―」は、岡野玲子による人気漫画『陰陽師』に描かれた平安時代の美意識や宇宙観を、音楽・映像・空間構成により再構築するという意欲的な取り組みだ。岡野自身の監修で、演出を担うのはクリエイティブディレクター／ミュージックディレクターとして数々の作品を手がけるBruce Ikeda。初日前日に実施された舞台稽古では、雅楽の演奏と鮮やかな映像が見事に響き合う、優美で濃密な空間が立ち現れた。





夢枕獏の小説を原作に、その繊細で気品漂う絵柄と壮大な世界観で多くの読者を魅了してきた『陰陽師』。1993年の連載開始当初から雅楽を学んでいたという岡野だが、2000年には岡野によるプロデュース、演奏団体「伶楽舎」、ブライアン・イーノらが参加したCD「music for 陰陽師」がリリースされ、雅楽に初めて触れる人々

に広くその魅力を印象付けた。今回は、このアルバムの内容に沿ったプログラムによる舞台公演が初めて実現。アルバムと同様、伶楽舎の演奏で、春を表す調子とされる「双調調子（そうじょうのちょうし）」から始まり、春、夏、秋、冬にまつわる名曲が続く。雅楽における6つの調子をすべて取り入れたいという岡野の配慮が行き届いた構成だが、これまで雅楽に親しむ機会のなかった人にとって、映像と音響による演出は鑑賞の大きな助けに。高精細LEDスクリーンに映し出される、人の力の及ばない山河、その四季折々の姿、平安京の様子、また立体音響システムが体感させる鳥の声や水の流れ、波の音、雷鳴といったサウンドが、私たちを底知れぬ力を秘めた自然界へと連れ出してくれる。

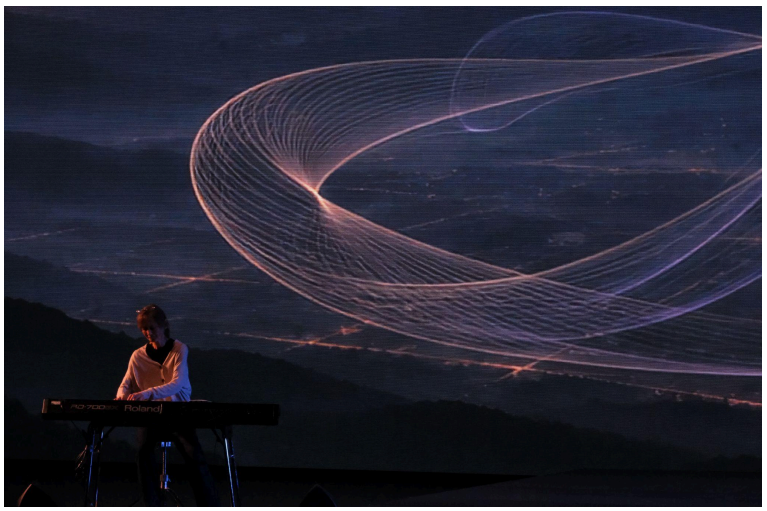
このスクリーンで岡野の原画の数々を堪能できるのは、『陰陽師』ファンにとって至極の体験だ。謎めいた佇まいの主人公、陰陽師・安倍晴明の独特の表情も、彼が唯一心を許す友人で、自然体が魅力の源博雅の姿も、鮮やかに、余すところなく再現。二人の愉快なやりとりが思い出される。岡野ならではの繊細で伸びやかな筆致、装束の文様の細かさ、雅やかな色合い、滲みまでもが次々とスクリーンに現れ、音楽と連動する様は圧巻だ。その力は、この公演で初めて『陰陽師』に出会う人をもぐいぐいと引き込んでいくに違いない。

岡野はさらに、和琴の独奏で出演もし、八面六臂の活躍だ。雅楽といえばまず笙や篳篥、龍笛を思い浮かべてしまうが、岡野が演奏する和琴の柔らかで神秘的な音色に触れると、雅楽に対するイメージはぐんと豊かに。さらに、舞を伴う舞楽も大きな見どころ。美しい装束を纏っての勇壮な、また格調高い舞に、思わず目を奪われる。そうして様々な表情の曲が演奏される中、しばしば舞台とスクリーンとの境目が曖昧になってくるのはなぜだろう。伶楽舎のメンバーたちが、『陰陽師』の世界から飛び出してくるように感じられる瞬間も、存分に楽しみたい。





終盤には「music for 陰陽師」でも雅楽パートの最後を締めくくった橋本一子がエレクトリックピアノを演奏。その音楽は、雅楽が織り上げてきた『陰陽師』の世界観そのままに、時空を超え、宇宙の果てへと広がっていくような感覚をもたらす。



開演前に雅楽器体験ができるチケットも販売し、現代の生活で断片的に聞こえてくる雅楽の本来の魅力を、五感でじっくりと味わえる貴重な機会に。平安の美意識と現代の表現が交差する唯一無二の時間が待っている。

（取材・文：加藤智子）

□本公演の見どころ

漫画・文学・伝統芸能という異なる文化領域を横断し、『陰陽師』の世界を雅楽によって読み解きます。

夢枕獏の小説『陰陽師』を原作とする岡野玲子の漫画『陰陽師』。1993年に発表されてから安倍晴明ブームの火付け役となり、長年に渡り数多くのファンを魅了し続けています。この歴史創作の代表作を、コンサートとして再構築した本公演。漫画家でありながら『陰陽師』の世界観を身体でも表現することに取り組んできた岡野玲子によるトークと伶楽舎による雅楽、橋本一子による演奏をお届けします。

笙・篳篥・龍笛などの雅楽器と、現代音楽・電子音響を融合。千年前の音と現代の音が交差する、新たな音楽表現を創出します。

上演される楽曲群は、2000年に発売されたCDアルバム「music for 陰陽師」より構成されています。雅楽の古典曲から現代作品、廃絶曲まで幅広い演奏活動を展開する雅楽演奏団体・伶楽舎とイギリスの音楽家・プロデューサー・音楽理論家でアンビエント・ミュージックの先駆者のブライアン・イーノが手がけた本アルバム。二つの異なる才能が『陰陽師』に着想を得て、陰陽五行のエッセンスを取り入れながらつくり上げた二枚組です。CD発売後、今回が初めての公演となります。

漫画の原画・シーンや平安京を想起させる映像表現を、音楽・照明と組み合わせ、ステージ全体をひとつのサウンドスケープとして構成します。

会場はステージ全面に LEDを備えた最新鋭のシアター空間、MoN TakanawaのBox1000。最新の音響、スクリーンに映し出される漫画『陰陽師』のシーンによって、平安と現代、東と西の響きが交差する新たなサウンドスケープを創出します。

□演目

双調調子（そうじょうのちょうし）／春庭花（しゅんでいか）／黄鐘調調子（おうしきちょうのちょうし）／拾翠楽（じっすいらく）／琵琶秘曲 楊真操（ようしんそう）／舞楽 陵王一具（りょう

おう いちぐ）／平調調子（ひょうじょうのちょうし）／和琴独奏 菅掻（すががき）／催馬楽 飛鳥井（あすかい）／盤渉調調子（ばんしきちょうのちょうし）／蘇合香 序一帖（そこう じょいちじょう）／舞楽 青海波（せいがいは）／太食調調子（たいしきちょうのちょうし）／長慶子（ちょうげいし）／朗詠 二星（じせい）／雲珠（うず）　※上演時間は約140分間予定

□公演情報

漫画『陰陽師』を聴くー天地をむすぶ雅楽の宇宙ー

【日時】　2026年11月27日（金）18:30開演（17:45開場）
2026年11月28日（土）14:00開演（13:15開場）

【会場】　MoN Takanawa: The Museum of Narratives Box1000
（〒108-0073 東京都港区三田3丁目16−1）

【主催】　MoN Takanawa: The Museum of Narratives

【協力】　白泉社／FlyingDog, Inc.

【イマーシブオーディオ技術協力】ヤマハサウンドシステム株式会社

【公式サイト】　https://montakanawa.jp/programs/onmyoji/

□アーティストプロフィール

▲監修・出演：岡野玲子（おかのれいこ）



漫画家。代表作『ファンシイダンス』（第34回小学館漫画賞少女部門受賞、周防正行監督・本木雅弘主演で映画化）、夢枕獏原作の『陰陽師』（第5回手塚治虫文化賞マンガ大賞、第37回星雲賞コミック部門受賞）、『両国花錦闘士』（2020年、原嘉孝主演で舞台化）など。その他の作品に、『陰陽師 玉手匣』（夢枕獏原案）、『妖魅変成夜話』、『イナンナ』、『コーリング』（P.マキリップ原作）などがある。雅楽をはじめとする音楽にも造詣が深く、音楽作品のプロデュースも手がける。1999年には、伶楽舎、ブライアン・イーノによる 、漫画『陰陽師』のイメージアルバム『music for 陰陽師』をプロ

デュース。ほかにも、雅楽三方楽家の伝承を踏まえた東儀兼彦の『喜瑞』（笛：芝祐靖、笙：豊英明）、テルミン奏者・やの雪の『EYE MOON』、橋本一子の『Phantasmagoria』、同氏による漫画『コーリング』イメージ音楽(ミニCD)。また、『ファンシイダンス』のイメージアルバム（プロデュース手塚眞）がある。2011年以降は、宮城県石巻市雄勝町に伝わる「雄勝法印神楽」の復興支援活動にも参加し、2015年の完全復興までその活動を支えた。

▲出演:宮丸直子（みやまるなおこ）



雅楽演奏者。東京藝術大学在学中から雅楽全般を芝祐靖に師事。1985年に芝が創立、その後長く音楽監督を務めた雅楽演奏団体・伶楽舎に所属し、国内外の演奏会等に参加している。

▲出演：伶楽舎（れいがくしゃ）



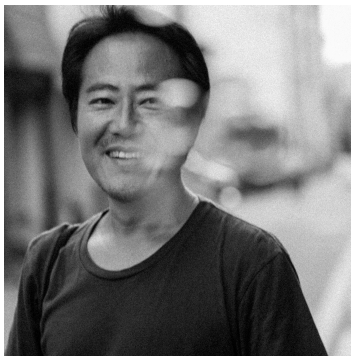
雅楽演奏団体。1985年に雅楽演奏家・作曲家の芝祐靖（芸術院会員、文化勲章受賞者）が創立し終生音楽監督を務めた。現音楽監督・宮田まゆみ。雅楽古典曲以外に、廃絶曲や正倉院楽器の復元演奏、現代作品の演奏にも積極的に取り組み、国内外で幅広い活動を展開。現代作曲家に作品を委嘱し、新作や他ジャンルとのコラボ作品など自主公演で度々初演。解説入りコンサートや学校での体験講座など普及公演も多く開催。2016年佐治敬三賞、2020年ENEOS音楽賞邦楽部門、2025年伝統文化ポーラ賞優秀賞等受賞。

▲出演：橋本一子（はしもと いちこ）



ピアニスト、作曲家etc.。 武蔵野音楽大学ピアノ科卒業後 デビューから現在までノンジャンルで先進的な音楽を発信し続けている。海外での活動も含めその音楽性は高く評価されている。 YMO「テクノポリス2000-20」のツアーゲスト、高橋悠治、高橋アキ、菊地成孔、手塚眞、岡野玲子、ハン・ベニング、イレーネ・シュバイツァーなど内外の多彩なアーティストとノンジャンルにコラボレーション多数。 ベルリンジャズフェスティバル、NY、上海、ドイツツアー、など、海外での演奏も意欲的に取り組む。OST含む27枚のアルバムをリリース。最新アルバムは「view」。

▲演出：Bruce Ikeda（ぶるーす いけだ）



音楽、映像、空間を横断し、人の知覚や感覚に働きかける体験をつくるクリエイティブディレクター／ミュージックディレクター。世界的なクリエイティブエージェンシーWieden+Kennedy Tokyo、音楽・映像レーベルW+K Tokyo Labを経て、2012年にJKD Collectiveを設立。国内外の音楽家や映像作家とのコラボレーションを通じ、音を軸としたインスタレーションや映像作品などを手がけながら、アート、テクノロジー、 カルチャーが交差する領域で、新たな空間体験の可能性を探求している。近年では大阪・関西万博2025の屋外サウンドスケープのミュージックディレクターを務め、 7名の作曲家と共に、ゾーンごとに異なる生成的な音響体験を構築した。

🔲チケット

一般：1階席・雅楽器体験付　9,000円／1階席　6,500円／2階席　4,500円

U25：1階席・雅楽器体験付　7,000円／1階席　5,000円／2階席　3,500円

※表示価格は全て税込

🔲プレイガイド

MoN Takanawa公式プレイガイド「Fever」：https://feverup.com/m/781180

イープラス：　https://eplus.jp/onmyoji/

カンフェティ：https://www.confetti-web.com/@/mon_onmyoji

ローソンチケット：https://l-tike.com/onmyoji/

・・・




Photo: Yasuyuki TAKAKI

公式ウェブサイト：https://montakanawa.jp/
公式インスタグラム：https://www.instagram.com/montakanawa/ （@montakanawa）
今後の詳細情報は、公式ウェブサイトおよびSNSを通じて順次発信します。

■一般財団法人JR東日本文化創造財団について

当財団は「MoN Takanawa: The Museum of Narratives」の企画運営を通して、日本の文化創造に貢献するための組織として2022年4月1日に設立されました。「100年先へ文化をつなぐ」をミッションに、これまで育まれてきた伝統や文化に現代の価値観やテクノロジーを融合させ、より広い時間軸と国内外のパートナーとともに国際的な共創、交流、発信を行っていきます。

※「MoN」、「MoN Takanawa」並びに「MoN Takanawa: The Museum of Narratives」は、一般財団法人JR東日本文化創造財団の登録商標です。

＜本件に関するお問い合わせ先＞

漫画『陰陽師』を聴く ー天地をむすぶ雅楽の宇宙 ー　PR事務局

担当：西原栄・松永未来

MAIL: onmyoji_pr@montakanawa.jp